

平成27年度 第4回鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会  
「発達支援部会」会議録

日 時 平成27年11月19日（木）午後4時から午後5時40分まで

場 所 鎌ヶ谷市総合福祉保健センター4階研修室

出席者 菅谷幸乃部会長、平沢真哉副部会長、福田弘子部会員、土屋知子部会員、野中幹子部会員（鎌ヶ谷市学校教育課副主幹）、林恵利部会員（鎌ヶ谷市健康増進課主任保健師）、佐藤佳子部会員（鎌ヶ谷市こども発達センター分室主幹）、松村幸江部会員、須鎌ひろみ部会員、岩田友理子部会員（鎌ヶ谷市障がい福祉課主任保健師）

欠席者 星山伸夫部会員

事務局

（障がい福祉課） 齊藤実障がい福祉課長、中村浩主任主事  
（もくせい園） 花田聡子氏

公開・非公開の区分 非公開

傍聴者 0名

会議資料

- ・式次第
- ・平成27年度 第3回鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会「発達支援部会」会議録（非公開）
- ・事例概要（事前配布）（非公開）
- ・相談受付表（事前配布）（非公開）
- ・一次アセスメント票（障害児版）（事前配布）（非公開）

## 挨拶

事務局から、本日の会議が、定足数である過半数を満たしていること、及び本日の会議は非公開であることの報告、並びに斉藤障がい福祉課長より、本日は部会員から提供いただいた事例を通し支援体制の在り方や社会資源について意見をいただきたい旨の挨拶があった。

## 2 議題

部会長 前回の会議では学童期の発達障がいの子どもの事例検討を行った。グループに分かれ意見交換をした結果、次のような意見が出された。①検診や保育園での早期の発見ができれば、支援もスムーズに行うことができるのではないか、②障がい者のみならず家族支援も重要ではないか、③就学後の対応として相談機関から教育委員会に繋ぐ体制があるとよいのではないか、④計画相談の重要性、⑤CAS（千葉県発達障害者支援センター）の活用等である。しかし、この事例検討のみで結論を出すことは難しいという意見があったため、今回も事例検討を行うこととした。本日の検討で、前回と共通した問題が見いだされれば、それが課題や不足している社会資源である可能性が高い。本日、事例を提供くださった佐藤部会員に事例の説明をお願いし、その後、グループに分かれて意見交換をしていきたい。前回と今回の意見を整理するのは、次回の部会とし、本日は意見を出すところまでとしたい。

### (1) 事例説明（佐藤部会員から）

添付資料「事例概要」及び「相談受付表」「一次アセスメント票」のとおり説明があった。

### (2) 事例について質疑応答・検討（非公開）

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成28年2月1日

氏名 平沢 真哉

氏名 松村 幸江